

【エクアドル内政・外交：2013年2月】

1. 概要

- 14日 総選挙の選挙キャンペーン終了
- 17日 総選挙の実施、コリア大統領の勝利宣言
- 27日 パティーニョ外相の中南米訪問

2. 内政

2月17日の大統領選挙(副大統領)、国会議員選挙、アンデス議員選挙

- (1) 1日、世論調査会社Market社による選挙前の世論調査結果は、コリア大統領 59.45%、ラッソ候補 11.6%の支持率を有していると発表した。
- (2) 14日24時をもって42日間の選挙キャンペーン期間が終了し、コリア大統領及び各候補者はキト及びグアヤキルにおいて集会等を実施し選挙キャンペーンを終了した。
- (3) 15日12時から18日12時まで、酒類の販売、消費が一切禁止され、政令に違反した場合には罰金159ドルが科される禁酒令が施行された。
- (4) 17日午前6時半、モレノ副大統領及びパレデスCNE委員長は、総選挙の開始を宣言する式典を行った(約320名からなる国際監視団の代表、軍関係者、国会議員、各国大使が出席)。同日午前7時より予定通り選挙が開始され、午後5時の選挙終了まで特に大きな混乱もなく、極めて平穩裡に実施された。
- (5) 17日17時、世論調査会社CEDATOS社及びCIIESS社はコリア大統領が50%以上の得票率を獲得した旨の出口調査結果を発表し、コリア大統領が右調査結果に基づき大統領府バルコニーに姿を現し、支持者の前で約15分間の勝利宣言を行った。
- (6) 17日19時50分頃、ラッソ候補は約25分間の記者会見を行い、「約20%の国民が自分(ラッソ候補)に投票してくれた、国民から2番目に多い支持を得た候補者である。またコリア大統領が勝利を果たしたことを認め、敬意を表する」と述べた。
- (7) 18日23時時点の国内NGO「市民参画」の出口調査は、国会同盟(AP)は少なくとも137議席中91議席獲得する可能性があり、2/3以上の議席を与党APが占めることになると発表した。
- (8) 20日、コリア大統領は20社以上の海外記者を対象に、2時間に亘り記者会見を実施し、次の4年間が最後の大統領任期となること、また憲法を一部改正する必要がある旨、さらにシェブロン社のエクアドル提訴に関し、ラテン・アメリカでは国際裁判システムではなく地域裁判機関が投資協定の保障につきとって代わるべきであると述べた。
- (9) 25日12時時点のCNEの大統領選挙の開票結果(開票率96.18%)によると、コリア大統領は56.87%の得票率で大統領に選出された。

3. 外交

(1) 対カナダ関係

19日、新空港開設式のため当地を訪問した加のアブロンクシー米州外交担当大臣はアルブハ政務担当外務副大臣と会談し、ヤチャイ大学創設プロジェクトに加が参加するようエクアドル政府よりの提案がなされた。

(2) 対ベネズエラ関係

20日、コリア大統領は20社以上の海外記者を対象に行った記者会見の中で、マドゥーロ・ベネズエラ副大統領と電話会談したことを明らかにし、「チャベス大統領は回復しているが、厳しい治療を受けている」が、見舞いを行うのは構わないということだったため、数日中ないし

数週間以内にチャベス大統領を見舞うためベネズエラを訪問する旨述べた。

(3)対日関係

22日付当国外務省プレスリリースは、今田南米首席首席官とコルデロ当国外務省アジア・オセアニア大洋州担当次官代行との会談の中で両国関係の議題につき対話を行い、また今田首席事務官は、今次エクアドル大統領選挙に言及し、コレア大統領の再選に日本政府としての祝意を表明した。さらに、安倍総理が日本大使館を通じ、同大統領に挨拶と祝意のメッセージを送付したと伝達した旨報じた。

(4)アサンジ亡命問題

5日付当国外務省プレスリリースは、オノ・ヨーコ・レノン基金が在英国エクアドル大使館に亡命中のアサンジ・ウィキリークス代表に対し「価値賞」(Premio al Valor)を授与した旨報じた。

(5)米州人権委員会改革

27日、パティーニョ外相は3月8日に当国グアヤキル市で開催予定の米州人権委員会改革に関する会議の議題の事前打ち合わせをするため、メキシコ、チリ、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、ドミニカ共和国、ハイチ、ベネズエラ他を訪問した。